

# 「コロナ明け1000人規模国際会議開催の記録」

“第38回宇宙線国際会議2023の経験から”

2025/12/22

KEK-IINASフォーラム2025

国際会議の開催のコツ！～企画から実務まで～

「実務編」

東大宇宙線研究所

伊藤好孝

# 自己紹介

- 宇宙線実験の研究者
  - 東大宇宙線研究所教授、昨年まで名大宇宙地球環境研究所に在籍
  - 専門はニュートリノ、暗黒物質探索、など
- 宇宙線分野最大の国際会議ICRC2023の誘致から開催まで経験
  - IUPAP C4委員（宇宙線関係の国際組織）を2017-21やっていました。
  - 2003年のICRC（つくば開催）の時の組織委員も経験

# 宇宙線国際会議(ICRC)とは

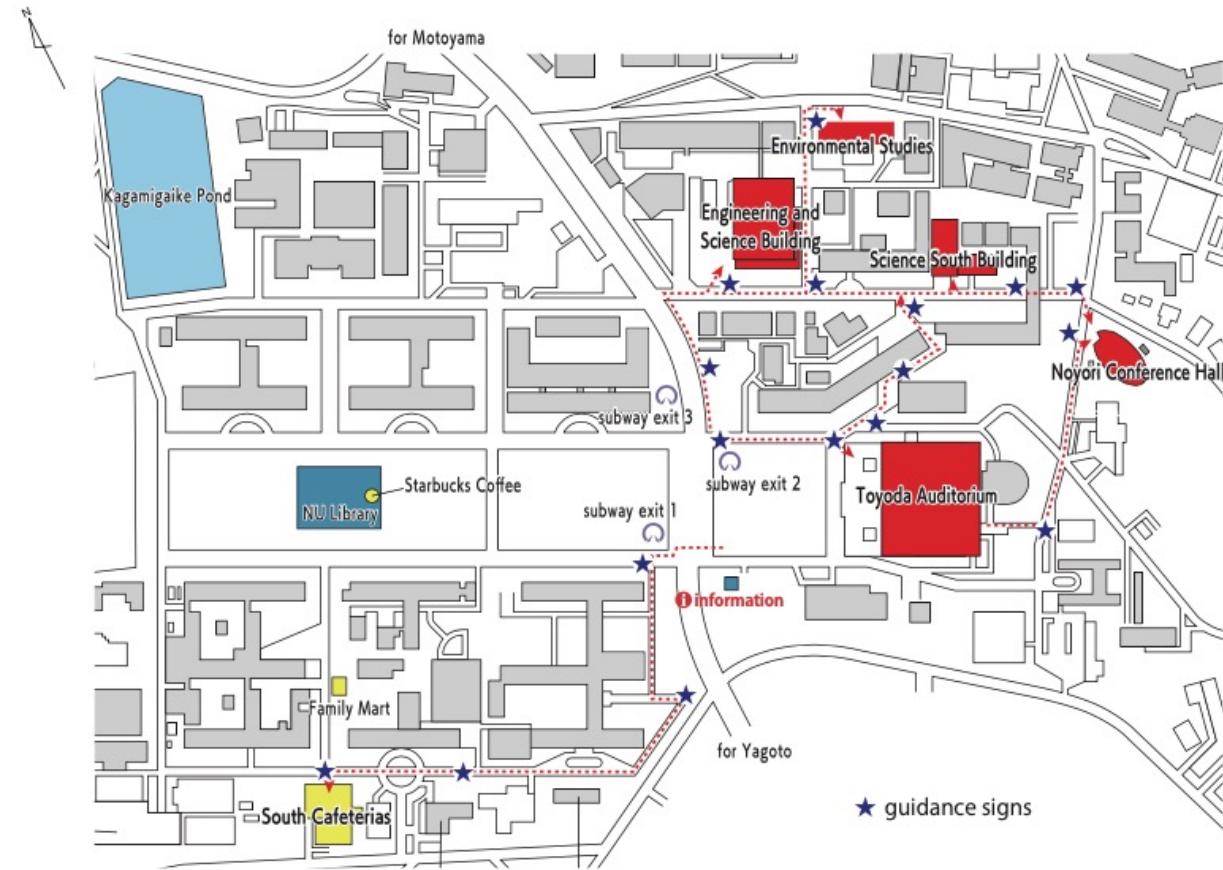
- 宇宙線分野最大最古の国際会議。毎回1000名程度参加、夏に~10日間開催
  - 2年に1度、1947開始、今年で38回（76年）の最も古い歴史を持つ
- 原則3地域（欧州、北米・南米、アジア・オセアニア）をローテーション
  - 日本開催は京都(1961, 1979)、つくば(2003)、に続き20年振り4回目
  - 2017釜山、2019米国Wisconsin、2021ベルリン→完全オンライン
- IUPAP(国際物理応用連合) Commission-4(Astroparticle physics)がIABとして（かなり）関与
  - 伊藤がC4委員だった(2017-2021)。2019, 2021開催にはIABとして関与
- 第38回ICRC2023を2023年7月26日—8月3日まで名古屋大学で開催
  - 4年以前のICRC2019の場で日本へ誘致成功、準備開始
  - (しかし誘致当初は大阪での会議場開催予定だった…。)

# コロナ禍～名大へ会場変更

- 2020年まで肅々と準備、そしてコロナ突入、しばらくは様子見していた
- せまる会場経費自己負担の恐怖
  - ICRC2021ベルリンは開催前年9月まで「一部ハイブリッド」開催予定だった
  - 開催前年11月に「完全オンライン」へ移行。会場費問題が発生
- コロナ・オミクロン株の出現
  - 2021夏からワクチン開始、しかし2021冬オミクロン株で先行き不透明に
- 2021年冬から名大会場への変更を議論
  - 2021年8月に名大の主会場には仮予約をいれてあった
  - 大阪の会議場のキャンセル料規定、MICE支援金の最低参加人数規定を精査
  - 会期直前に完全オンライン会議になるリスクを回避できない状況
    - (オンライン開催の場合に参加料の上限がある国がある)
- 2022年2月に大阪から名大へ会場変更を決断
  - 最後まで対面参加者数が読めない→会場キャンセル料発生が少ない大学内開催へ

建物	階	部屋の名前	収容人数	用途
豊田講堂	B1	アーティストラウンジ		ポスター
	1F	メインホール	1204	プレナリ・パラレル
		シンポジオン	200	パラレル
		ホワイエ		受付・コーヒー
	2F	ギャラリー		ポスター
	3F	第1会議室	72	パラレル
		第3会議室		バイト控室
		第5会議室		LOC本部
野依記念館	1F	野依ホール1F		ポスター
		野依ラウンジ		コーヒー
理学南館	2F	野依ホール2F	180	パラレル
	1F	坂田平田ホール	300	パラレル
ES館	1F	ESホール	190	パラレル
環境総合館	1F	レクチャーホール	80	パラレル
南部食堂	3F	南部食堂		ランチ弁当

# 名大会場の配置



各会場間は5分程度で移動できる  
(ただし炎天下だった・・)

# フタを開けると史上最大の参加人数に

- 2022/12/26 参加登録開始
  - 2023/2/20 講演申込締切, (2023/7/10 参加登録締切)
- 参加者数 1102人 対面参加、304人オンライン参加 (54カ国)
- 1505 講演数の申し込み
  - 38 プレナリー対面、488 対面パラレル口頭、703対面ポスター
  - 71 オンライン口頭、205 オンラインポスター
- 参加者数、講演数ともICRC史上最大の会議となった
- ICRCでは申し込み講演はほぼ全数アクセプト、1/3を口頭、残りをポスター
- プレナリー講演は招待講演、約半数は申し込み講演から選ぶ
- 当初は現地50%、リモート50%参加と見込んだが、結局リモート講演は2割

# 会議プログラム構造

- 午後後半をプレナリ
- パラレルを午前（米国対応）、午後後半（欧州対応）に分割
  - リモート講演に配慮
- ランチ前にポスター
  - ランチ開始時間の分散
- 最終日はプレナリのみ（まとめ講演）
- 講演数増加のため、初日にパラレル追加

ICRC2023				as of 27th Jun 2023											
JST	PDT	EDT	CET	26 Jul (Wed)	27 Jul (Thu)	28 Jul (Fri)	29 Jul (Sat)	30 Jul (Sun)	31 Jul (Mon)	1 Aug (Tue)	2 Aug (Wed)	3 Aug (Thu)			
8:30	16:30	19:30	1:30		Registration	Registration	Registration		Registration	Registration	Registration				
9:00	17:00	20:00	2:00	Registration @Toyoda Auditorium (coffee) 9:15-	Parallel Sessions 9:00-10:30	Parallel Sessions 9:00-10:30	Parallel Sessions 9:00-10:30		Parallel Sessions 9:00-10:30	Parallel Sessions 9:00-10:30	Parallel Sessions 9:00-10:30				
10:30	18:30	21:30	3:30		Parallel Sessions 10:25-11:40	(coffee) Poster Session 10:30-11:40									
				Lunch	Lunch	Lunch	Diversity 11:50-12:50	Lunch	Lunch	Lunch	Lunch				
13:00	21:00	00:00	6:00	Parallel Sessions 13:00-14:15	Opening & Prizes 13:00-14:30	Review Talks x2 13:00-14:30	Review Talks x2 13:00-14:30		Review Talks x2 13:00-14:30	Review Talks x2 13:00-14:30	Review Talks x2 13:00-14:30				
				Break	group photo Break	Break	Break		Break	Coffee Break	Coffee Break				
14:45	22:45	01:45	7:45	Parallel Sessions 14:30-15:45	Highlight Talks x3 14:45-16:15	Highlight Talks x3 14:45-16:15	Highlight Talks x3 14:45-16:15		Highlight Talks x3 14:45-16:15	Highlight Talks x3 14:45-16:15	Highlight Talks x3 14:45-16:15				
				Registration @Hilton(16:00-)	Coffee Break	Coffee Break	Coffee Break		Coffee Break	Coffee Break	Coffee Break				
16:45	0:45	03:45	9:45	Welcome reception @Hilton 17:00-19:00	Parallel Sessions 16:45-19:00	Parallel Sessions 16:45-19:00	Parallel Sessions 16:45-19:00		Parallel Sessions 16:45-19:00	Parallel Sessions 16:45-19:00	Parallel Sessions 16:45-19:00				

↑会期前に1日追加

Banquet @Hilton 19:30-22:30

# 組織・分業体制

- 組織委員会(LOC) : 51名 + 11名 (会場担当が足りないため、会期中追加招集)
  - 委員長1、副委員長2
  - 総務
  - 予算関係
    - 会計、資金、若手支援、監査
  - 参加登録関係
    - 当日登録、宿泊、配布物
  - セッション関係
    - 会場、アルバイト、プログラム、ポスターセッション、プロシーディングス、アワード、ネットワーク、オンライン、一般講演会、
  - ロジスティックス関係
    - 広報、コーヒー、ランチ、宴会、エクスカーション
  - その他
    - 傷病対応、ハラスマント対応、ダイバーシティ
- セッションコンビーナー (ISPC) : 70名(24か国)
  - 8セッションにそれぞれプログラムコミッティー(ISPC)立ち上げ
  - ISPCのチアはC4が助言を出す (全世界から、参加者に限らない)
  - 各ISPCにはLOC・プログラム担当から1名づつ参加、連絡役になる
  - 各ISPCでアブスト査読、口頭・ポスター振り分け、プロシーディングス査読

# 会場運営

- パラレルは最大7会場に分散、連絡調整、緊急対応が困難
  - LOC部屋にコントロールセンターを設けた
  - スライドはコントロールセンターで会議webからDropBoxへ上げて各会場へ共有
  - Google Docを連絡版代わりにしてコントロールセンターと意思共有
  - LOC用Slackも立ち上げ情報伝達、アーカイブ
  - 火急の場合は、レンタル携帯へ連絡、もしくは会場へ伝令を走らせる
- パラレルセッション運営
  - セッションチェアと別にセッション運営に正副責任者の2名をLOCから配置
  - 副責任者がタイムキーパー、セッションチェア対応
  - マイク係、スピーカー対応に学生バイト1 – 3名配置
- 会場設営
  - 豊田講堂会場設営・会場看板・ポスター会場、誘導看板設置は業者に依頼

# 完全ハイブリッド会議（双方向リモート参加）

- ・全会場にzoom配信を導入
  - ・プレナリーzoom webinar(3000人) + パラレル7会場はzoom meeting(1000人)
  - ・zoom配信補助と会場への追加機材（ミキサー・リモート用PA機材、カメラ、zoom運用支援）は業者を導入
  - ・当初は現地50%、リモート50%参加と見込んだが、結局リモート講演は2割
  - ・音声クオリティ重視、映像カメラは豊講ホール以外は後部固定1箇所のみ
  - ・LOC控室にコントロールセンターを設けて全zoom会場を監視
  - ・非常にクオリティ高かったとの参加者からの評価
  - ・zoomはセッションごとに録画して、会議システムCONFITで共有



豊講ホール配信スタッフ

LOC部屋zoom集中監視



# 学生アルバイト：78名

- 名大物理教室の学部生・院生中心に募集（31名）
- 大学支援課を通じて名大全学からも募集
  - 工学系、農学、文系、医学系からも応募あり（11名）
- 周辺大学からも募集
  - 南山大、中部大（14名）
- 1日最大36名従事
  - 朝8:00-19:30までカバー、2交代制
  - ひとりが複数のタスク
- 雇用方式
  - 名大所属生は宇地研で雇用
    - Pros: 経費は安い
    - Cons: 書類管理を人事係に依頼、時間数の制約、交通費支給不可
  - 学外生は人材派遣会社を通じて雇用
    - Pros: 書類管理をおまかせ
    - Cons: 経費が高い、LOC個人団体と契約が難しい

# ランチ対策

- 最大の懸念事項、現地参加者1000名（うち外国人700名）の対応
  - ランチ時間は1.5時間しか取れない。遠出不可。
  - 学内にこれだけ収容する飲食可能場所が生協以外にない
  - 生協が参加者であふれると、学内に迷惑がかかる
- 生協にコンファレンス定食の供給の相談
  - 南部食堂（教養生むけ生協）なら広く、貸切も可能、弁当事前注文なら対応可
  - 最大1日800食対応で計画。ベジタリアン、ハラルも弁当なら可
  - 6/5から販売開始。しかし伸び悩む→もっと高級な松花堂タイプを追加
  - 締め切り7/4。最終的に1日400食程度に
  - 生協、JTBを4-5名配置し弁当を配る。学生バイトは食堂外で誘導
- 事前予約だけでは当日決める人を捌けない
  - 生協で当日販売食も準備（簡単で食材管理しやすいもの、うな丼、ネギトロ丼）
- キッチンカーも別途導入
  - 豊講駐車スペースに毎日3-4台のキッチンカーを依頼

	C	D	E	F	G	H	I	J
	26-Jul	27-Jul	28-Jul	29-Jul	30-Jul	1-Aug	2-Aug	3-Aug
	Wed	Thu	Fri	Sat	Mon	Tue	Wed	Thu
Regular Menu	R1	R2	R3	R4	R1	R2	R4	R3
	Moskatsu (a deep fried pork cutlet with miso-based sauce)	Winding sushi & Inari Sushi	Scissors Katsu with Japanese apricot and shiso	Seasoned rice with chicken and burdock	Misokatsu (a deep fried pork cutlet with miso-based sauce)	Winding sushi & Inari Sushi	Seasoned rice with chicken and burdock	Scissors Katsu with Japanese apricot and shiso
	1,400 JPY (including tax)	1,400 JPY (including tax)	1,400 JPY (including tax)	1,400 JPY (including tax)				
	みそかつ丼のみ	五六丼	棒(さしわら)丼	とりごはん丼のみ	みそかつ丼のみ	五六丼	とりごはん丼のみ	棒(さしわら)丼
								
Vegetarian Menu	V1	V2	V3	V1	V2	V3	V1	V2
	Vegetables Curry & Fried chickpeas	Fried tofu with vegetables	Sweet-and-sour sauce Soy meat dumplings	Vegetables Curry & Fried chickpeas	Fried tofu with vegetables	Sweet-and-sour sauce Soy meat dumplings	Vegetables Curry & Fried chickpeas	Fried tofu with vegetables
	1,400 JPY (including tax)	1,400 JPY (including tax)	1,400 JPY (including tax)	1,400 JPY (including tax)				
	7種の野菜カレー	厚揚げの野菜あんかけ	ベジボルの野菜風	7種の野菜カレー	厚揚げの野菜あんかけ	ベジボルの野菜風	7種の野菜カレー	厚揚げの野菜あんかけ
								
Halal Menu	H1	H2	H3	H1	H2	H3	H1	H2
	Sauted Chicken Curry and Soy sauce	Fish Fry & Chicken sausage	Beef Curry & soy meat dumpling	Sauted Chicken Curry and Soy sauce	Fish Fry & Chicken sausage	Beef Curry & soy meat dumpling	Sauted Chicken Curry and Soy sauce	Fish Fry & Chicken sausage
	1,400 JPY (including tax)	1,400 JPY (including tax)	1,400 JPY (including tax)	1,400 JPY (including tax)				
	チキンソテー	フカヒラフライ	ビーフカレー	チキンソテー	フカヒラフライ	ビーフカレー	チキンソテー	フカヒラフライ
								
Advanced Items on Regular Menu 1	RA1	RA1	RA1	RA1	RA1	RA1	RA1	RA1
	2,300 JPY (including tax)	2,300 JPY (including tax)	2,300 JPY (including tax)	2,300 JPY (including tax)				
	名古屋十二丼丼	名古屋十二丼丼	名古屋十二丼丼	名古屋十二丼丼	名古屋十二丼丼	名古屋十二丼丼	名古屋十二丼丼	名古屋十二丼丼
								
Advanced Items on Regular Menu 2	RA2	RA2	RA2	RA2	RA2	RA2	RA2	RA2
	1,650 JPY (including tax)	1,650 JPY (including tax)	1,650 JPY (including tax)	1,650 JPY (including tax)				
	名古屋の88	名古屋の88	名古屋の88	名古屋の88	名古屋の88	名古屋の88	名古屋の88	名古屋の88
								



# 会期中の問題

- ・コロナ・緊急疾病対策
  - ・救護室を各会場に設定。豊講は簡易ベッドレンタル
    - ・参加者1名が急な背面痛で八事日赤へ
  - ・コロナ対策（マスク・手指消毒等）は特に行わなかった
    - ・会期後半からコロナ患者が増え出した→対面講演をリモート講演にその場で変更
    - ・LOC内もコロナで不調者が後半続出（2割減）
- ・熱中症対策
  - ・連日38度越え。分散会場の最大のデメリット
  - ・水500ccペットボトルを1人1本相当で無料配布
    - ・会期中に1人1.5本相当へ増やした
  - ・ランチ時の南部生協へのシャトルバスを急遽導入
  - ・豊講の外の休憩場所にミストファン設置
- ・深刻な疾病、事故、トラブルは幸運にもなかった

# 誘致時の予算超概案（開催時予算とは異なる）

収入			支出		
参加料	Early (50000円×500人)	2500万	開催準備	ホームページ	80万
	Regular(60000円×100人)	600万		参加登録	180万
	Student(30000円×200人)	600万	開催経費	会場賃貸費	2800万
バンケット	(6000円×600人)	360万		参加配布物	220万
補助金	IUPAP	140万		コーヒーブレイク	360万
	自治体	750万		バンケット・レセプション	1020万
	科研費	700万		参加費・旅費補助	500万
	寄付金	350万		組織委員会活動費	90万
				予備費	400万
			開催後	会議録	100万
				報告書	60万
合計		6000万	合計		6000万

自分で弾いた超概算、800人参加想定だった。。双方向配信は考えてなかった。。

# 実際の予算（最終全体収支）

収入		支出	
参加費	5160万	登録処理	570万
バンケット代	740万	会議システム	350万
補助金計	990万		
		レセプション・バンケット	1450万
		コーヒーブレイク	510万
		会場利用 + 設営	1000万
		配信関係	820万
		参加登録費旅費支援	410万
		バイト代、人件費	350万
		プロシーディングス	210万
		受付関連、配布品	380万
		営業管理費	150万
		その他	690万
収入計	6890万	支出計	6890万

# まとめと反省点

- 1000人規模のハイブリッド国際会議を開催した
- 会期1.5年前に会場を国際会議場から大学へ変更した
- 名大学内7会場を使って1000人規模国際会議が可能とわかった
- たいへんだった点
  - 会場運営スタッフはいない。LOC自身が対応。
  - 各部局管理の会議室は事務体制が別で、LOC側が個々に対応必要
  - 大学内は飲食可能スペースが少ない。名大周辺は飲食店もあまりない
  - 大学は会議専用施設ではない。学生、通常の運営に支障がないよう配慮
  - 大学は会議運営用に部署が作られていない
    - →それでも大学研究支援課の方々に学内の調整、連絡役になっていただきました。
- よかった点
  - 会場関係経費はかなり節約できた
  - (名大としては) 大学やその周辺をよく知ってもらえた
- 今後の参考になる例とは言い難いが、記録として紹介しました。

バックアップ<sup>o</sup>

# パラレル会場割

2023/6/20更新

## パラレルセッション

会場		収容人数	7/26 AM	7/26 PM1	7/26 PM2	7/27 AM	7/27 PM	7/28 AM	7/28 PM	7/29 AM	7/29 PM	7/31 AM	7/31 PM	8/1 AM	8/2 AM	8/2 PM
豊田講堂	メインホール	1204	GA1	GA3	GA5	GA7	GA8	GA9	GA11	GA13	GA14	GA16	GA18	GA19	GA20	GA21
理学南館	坂田平田ホール	300	CRI1	CRI3	CRI5	CRI7	CRI8	CRI9	CRI10	CRI11	CRI12	CRI14	CRI16	CRI17	CRI18	CRI20
理学南館	理学南館セミナー室	60				坂田平田サテライト							坂田平田サテライト			
野依記念学術交流館	2Fホール	180	CRI2	CRI4	CRI6	CRD2	CRD3	CRD4	MM&GW3	CRD5	CRI13	CRI15	CRD6	CRD7	CRI19	MM&GW7
豊田講堂	シンポジオン	200	GA2	GA4	GA6	MM&GW1	MM&GW2	GA10	GA12	MM&GW4	GA15	GA17	MM&GW5	MM&GW6	CRD8	GA22
ES館	ESホール	190	CRD1	NU1	NU2	NU3	NU4	NU5	NU6	NU7	NU8	NU9	NU10	NU11	NU12	NU13
ES館	ES会議室	78				ESホールサテライト										
ES館	ES635	100										ESホールサテライト				
環境総合館	レクチャーホール	100		SH1	SH2		SH3		SH4	SH5			SH6		SH7	
豊田講堂	第一会議室	72						DM1	O&E1	O&E2	DM2	DM3		DM4		DM5

各パラレル会場の収容員数を超えた場合、近くのサテライトへ誘導してzoom配信

# 誘致までの経緯

- 開催4年前(2019年) のICRC(7月末) でのC4委員会上で4年後(2023年夏) の開催地bidding (立候補と選考)
- 2019年6月、宇宙線コミュニティ(通称CRC) で立候補議論開始
  - 前回国内開催から20年、次のアジア開催は2029年、見送ると経験者不在に
- 各都市会議会場を比較、大阪で立候補を決定
  - 1箇所に1000人収容メインホール、5個以上の200人級パラレル会場
  - 開催地近くに十分なLOCメンバーを確保できるか
  - 補助金含めた会場経費、開催地の魅力
  - この間、研究者だけで企画。最後の最後に会議場に相談、情報を入手
- 8月2日 ICRC会期中の投票で大阪が選ばれた
  - 他の2候補と激戦。投票の結果で勝利
  - 会期は2023年7月26日～8月3日と確定

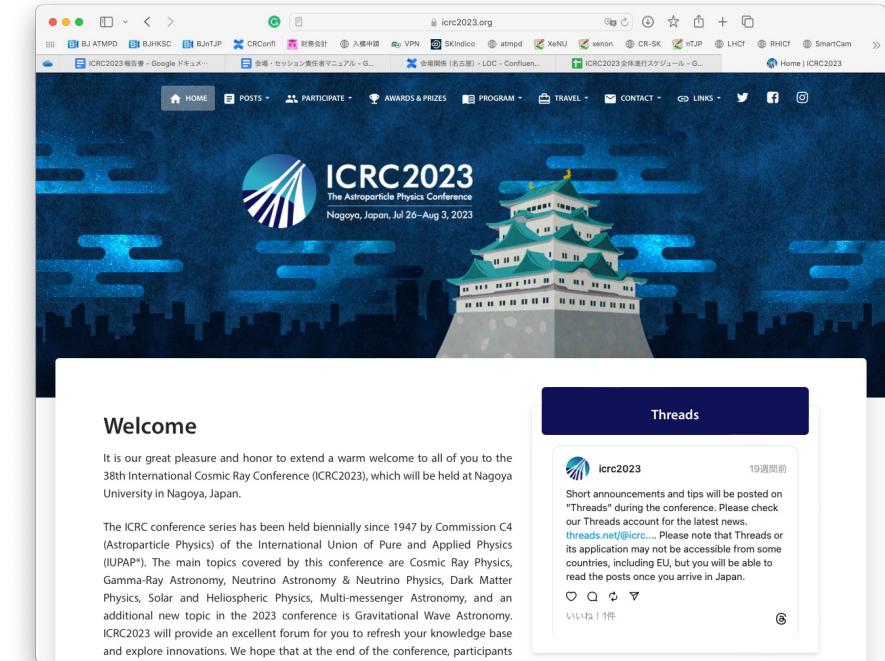
# 誘致の時点で・・

- 誘致合戦
  - 複数の候補地がプレゼンを行い、選考される(bidding)
  - 科学的な理由づけに加えて、実行可能性？魅力ある開催地・会議場か？
- まずは、開催都市、会場候補が先決
  - 会場候補：大きなホール、パラレル会場数、日程状況、金額？
  - 開催都市：アクセス、宿泊・食事場所、現地に組織委員候補いるか？
- 誘致時点で予算案が必要
  - 参加料は妥当か？予算案は実行可能性？若手へのサポート？
  - 誘致時に会場案、会場経費は決まっている必要がある
  - 過去の開催記録を参考(ICRC2003つくば)
- プrezent資料は業者が作ってくれるかもしれない
  - 旅行代理店、コンベンションビューロー、会場会社などのヘルプ
  - (ICRC2023の時は、会場資料だけもらって自分で作った)



# 誘致直後の作業

- 組織委員の決定、役割分担体制、タイムライン策定
- 組織委員会規約作成
- 決済口座開設
- (精度向上した) 予算案作成
- 趣意書作成
- ホームページ作成
  - 業者に頼まずGitHub編集のWeb clientで自力編。
  - domainだけ獲得
  - ロゴ、バナーデザイン（外注）
- 内部情報蓄積場所(wiki)
  - 資料共有サーバー、Slack立ち上げ
- 旅行代理店決定、契約
  - 会議企画・運営のもうもうをプロに相談、委託
  - 参加登録、参加料徴収、一時建て替えなど出納事務をお任せ
  - 3社に見積もり、参加登録システムのテストを経て最終決定



# 会議までのタイムライン

- 2019/8/2 開催決定
- 2020秋 開催準備委員会発足
- 2021/9 LOC発足
- 2021/5 旅行代理店決定
- 2021/5 Web 開設
- 2021/10 一部Onlineと決定
- 2022/2 名大へ開催地変更(！)
- 2022/5 銀行口座開設
- 2022/8 寄付金依頼開始
- 2022/8 バンケット会場決定
- 2022/8/12 First circular
- 2022/9 ISPC候補選定
- 2022/12/26 参加登録開始
- 2023/2/8 ISPCメンバー選定
- 2023/2/20 アブスト締め切り
- 2023/3/28 豊講でハイブリッド  
リハ研究会
- 2023/4/22 早期参加登録締切
- 2023/6/16 講演番号通知
- 2023/7/8 会議システム公開
- 2023/7/10 ランチ弁当締切
- 2023/7/10 参加登録締切
- 2023/7/26-8/3 開催！

# 会議web:参加登録(Amarys)と会議システム(Confit)

- 参加登録、演題登録、査読、ランチ予約、課金は旅行代理店のウェブシステムを使用
  - 演題査読はうまく動作せず、エクセルに落として実施。
- 会議の資料共有・アーカイブは別会社会議システムを使用
  - プログラムタイムテーブルの共有
  - スライドアップロード、閲覧
  - オンラインポスター (pdf)アップロード、コメント共有
  - zoom配信録画は連携する動画サーバーからシェア
- プロシーディングスはPoS を利用。オンライン出版のみ



# 実際のICRC2023参加料・登録数

		一般	学生
対面参加(Early)	Early	45000円	25000円
	Regular	55000円	40000円
オンライン参加	通常	35000円	15000円
	修士・学部学生 (発表無の場合)		0円
バンケット		10000円	

		一般	学生
対面参加(Early)	Early	586人	344人
	Regular	128人	39人
オンライン参加	通常	170人	127人
	修士・学部学生 (発表無の場合)		91人

# 会期終了後

- プロシードィングスの査読
- 会計：収支決算、会計監査（監査事務所対応）
- 報告書の作成

# 企画編まとめ

- (大型) 国際会議の企画
  - 単発研究会と違い長期の準備
  - 2開催前の立候補(bidding)時に企画、予算案が必要
- 会場、開催地の選定が第一歩
  - 参加人数、全体予算から会場が決まる。過去開催の記録を参考に
  - 開催地周囲に組織委員がいるか？
- 旅行代理店・コンベンション会社の決定と共同作業
  - 会議企画・遂行のプロとして定例会議で相談
  - 参加登録システム、参加費カード決済・一時支払い等は代理店が必要
  - ビザ取得、ランチボックス、バンケット、配車等のロジスティク担う

# 組織委員の選定（当時の資料）

## LOCメンバー候補

C4 biddingでの顔写真リスト。。。

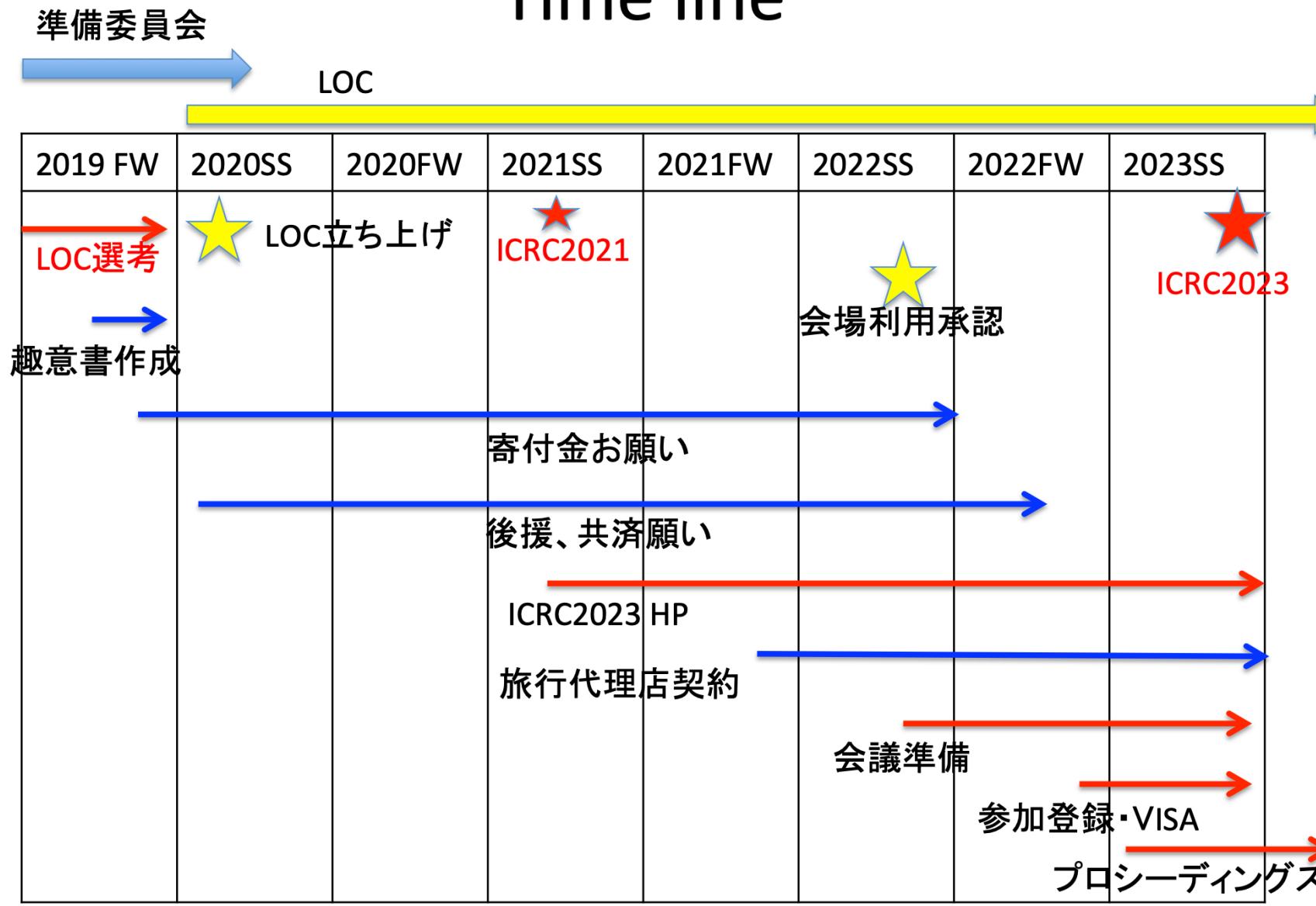
	<b>S.Ogio</b> (Osaka City) TA		<b>S.Yoshida</b> (Chiba) IceCUBE		<b>T.Sako</b> (ICRR) TA Alpaca LHCf		<b>Y.Itow</b> (Nagoya) Super-K LHCf XENON		
	<b>N.Kanda</b> (Osaka City) KAGRA		<b>K.Nishijima</b> (Tokai) Super-K CTA		<b>M.Takita</b> (ICRR) Tibet Alpaca		<b>H.Tajima</b> (Nagoya) CTA Fermi CubeSat		
	<b>Yamamoto</b>		<b>Kubo</b>		<b>Koshio</b>		<b>Takeuchi</b>		<b>Miyake</b>
<i>More LOC Kobe, Kyoto, Okayama, Nagoya...</i>									

## LOCメンバー候補

- C4 biddingに載せたメンバー+
- 18年後のICRC日本LOC主力年代(30代)いれる
  - 特任助教は除く(後日追加も)
- ICRC2003LOCは18名、うち8名が30代
- 関西主要大学、ICRR、かつ全国CRCを網羅
- IUPAPサポートには女性を(約)20%以上入れる必要
- 候補
  - C4 bidding資料掲載済みメンバー
  - 30代(ICRC2041主力)メンバー
  - 40代中核(ICRC2003LOC経験者)
  - 理論、周辺分野

# 2019時点で建てたタイムライン

## Time line



# 外部資金・助成金・寄付金

- 助成金担当を設けてアサイン
  - 科研費成果公開費（物理学会から申請必要）  
ただし学術会議と同時採択不可のため結局返還
  - 万博記念事業、天文振興財団
- 名古屋観光コンベンションビューローから
  - 国際会議補助、アトラクション補助
- 企業からの寄付金はJNTO窓口1本化
  - 事務手続きをお任せできる。LOC側は寄付お願いに専念
  - ただし、
    - あくまで「寄付」であり、「宣伝」とできない（ロゴ掲載不可の問題）
    - 振り込みは会議開催後。使途も限定される（飲食費不可）
- JNTO経由寄付金と別に、企業ブースを6件設定
  - LOCが直接経理。口座へ事前直接振り込み
- 大学からの国際会議支援
- 事前に手元に入る資金はIUPAP補助だけ
- 組織委員の参加費、旅費は手弁当

名称	金額	支払われる時期	支払い方法	使途
IUPAP補助	1,650,000	2023年6月	LOC口座へ	11000€の内3000€は旅費支援
名古屋観光コンベンションビューロー会議補助	1,500,000	2023年9月頃	LOC口座へ	飲食・若手支援以外
名古屋観光コンベンションビューローアトラクション補助	330,000		アトラクション会社へ直接	アトラクション
日本学術会議	382,536		名大へ直接振り込み	会場費
万博記念事業	1,600,000	原則精算払い、1/2まで前払い可能		次の各号に該当する経費は対象外とします。 1 助成事業者の経常的な運営経費 2 事務局の人事費 3 助成事業者の出展料、謝金 4 飲食、観光、アトラクション費、交通費特別料金 5 参加者等の同伴者の経費 6 事業者の構成団体への支払い 7 備品・消耗品費
名大KMI国際会議支援	688,032	部局で確保済み	KMIから支出	会場費、コーヒー
名大国際会議助成金	500,000	部局で確保済み	ISEEから支出	招待旅費、1割は消耗品可
名大ISEE研究集会	150,000	部局で確保済み	ISEEから支出	名札?
天文振興財団	700,000			会場費
JNTO寄付金（8社）	888,620			会議運営費：講演者旅費、若手発展途上支援、レセプション、バンケット
JNTO国際会議支援	480,000	-	-	会議ポスター印刷発送で使用済み
出展ブース（6件）	1,200,000	7月25日〆切	LOC口座へ	

# 予算割 (最終全体収支)

収入	千円	支出	千円
参加費	51,565	登録処理	5,658
バンケット代	7,360	Confit利用	3,476
補助金計	9,930	宿泊代	194
		レセプション・バンケット	14,524
		配信関係	8,228
		会場利用	4,938
		会場設営関係	4,975
		参加者登録費旅費支援	4,050
		バイト代、人件費	3,472
		コーヒーブレイク	5,133
		プロシーディングス	2,101
		受付関連、配布品	3,793
		広報	847
		営業管理費	1,526
		その他	5,940
収入計	68,855	支出計	68,855

# 参加登録・ビザ

- 配布物として名大バッグをいただきました。
- ビザ申請補助は代理店が対応
  - 招待レター依頼は171件、ビザ申請補助依頼は62件
  - 依頼者の身元確認（宇宙線の研究歴調査、外国ユーザー機関確認
  - 対応コスト(1.5万円/件)：今回参加者の自己負担としたが不満が出た
- 非ホワイト国からの参加者問題
  - 「誰でも参加できる会議」で「公知の事実」を伝える国際会議は一般的には適用されないと判断→現時点の判断を確認必要
  - 外国ユーザー機関からの参加者はそのつど産学連携部署と相談
- ロシア参加者問題
  - ロシア機関によってサポートされている研究者の受け入れ中止
  - 所属機関名を会議システム等で表示しない、という方式で対応（実際の現地参加者はいなかった）

# 共催、後援

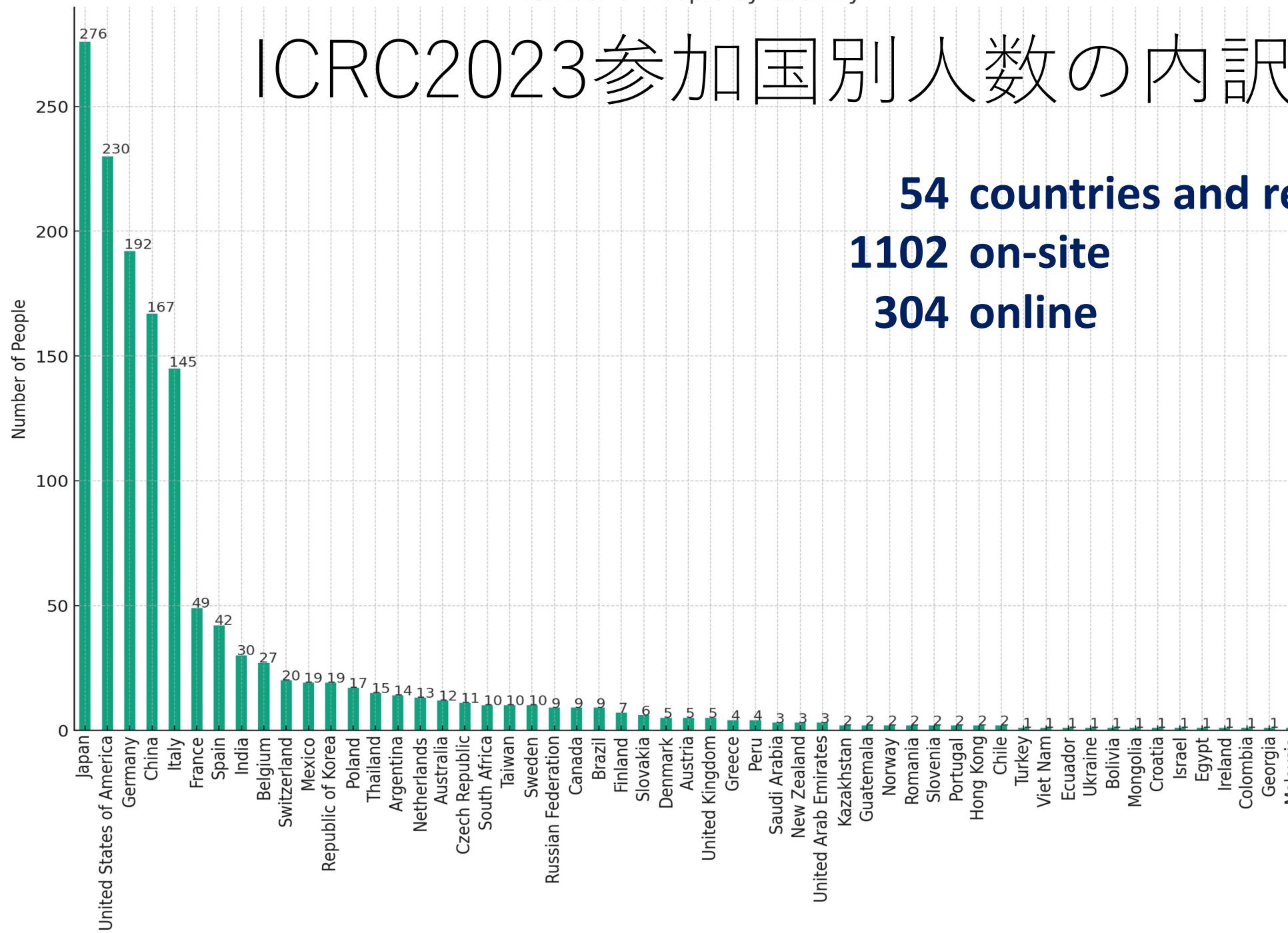
- 共催
  - 宇地研、KMI、東大ICRR、大阪公立大
  - 会期直前に名大の共催もいただいた
  - 日本物理学会、日本学術会議
  - 部局、大学の共催で豊講、野依学術記念館使用は無料に。他の会場費は無料にならない
- 後援
  - 高エネルギー加速器研究機構、国立天文台、JAXA
  - 天文学会、応用物理学会、地球電磁気・地球惑星連合
- 日本学術会議の後援
  - 物理学会を通じて後援申請、2年程前から準備必要
  - 認められるまで大変、最後に閣議決定
  - 非常にPrestigious
    - 首相メッセージ、学術会議会長副会長の臨席、天皇・皇族の臨席も
  - 会場代に限り一部支援してもらえる
    - ただし会場主へ直接払い込み、ブレイク時間等を含められない
    - その場合科研費は返上する必要

# 会議webシステム: AmarysとConfit

- 参加登録、演題登録、査読、ランチ予約、課金はJTBのウェブシステムAmarysを使用
  - 演題査読はうまく動作せず、エクセルに落として実施。
- 会議の資料共有・アーカイブはATLAS社のConfitを使用
  - プログラムタイムテーブルの共有
  - スライドアップロード、閲覧
  - オンラインポスター (pdf)アップロード、コメント共有
  - zoom配信録画は連携するVimeoサーバーからシェア
- プロシーディングスはPoSを利用。オンライン出版のみ

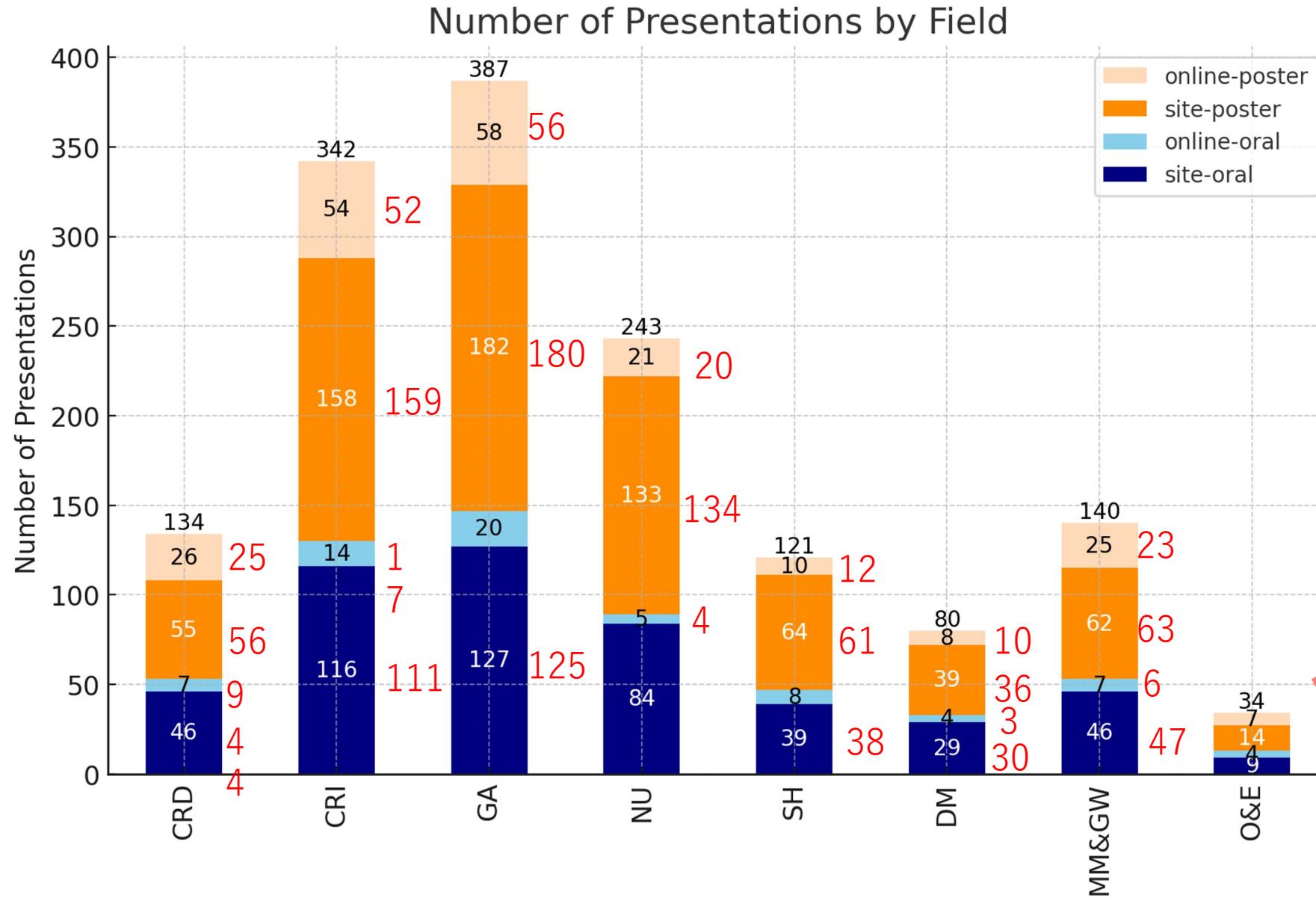


Number of People by Country



54 countries and regions  
1102 on-site  
304 online

# Statistics



**205 online poster**  
**703 site poster**  
**71 online oral**  
**488 site oral**  
**+**  
**38 plenary**  


---

**1505 contributions**

*The maximum record  
in the history of the ICRC!*

# パラレル口頭講演内訳

口頭 講演数	CRD	CRI	GA	NU	SH	DM	MM&G W	O&E	計
現地	44	111	125	84	38	30	47	9	488
オンライン	9	17	20	4	8	3	6	4	71
計	53	128	145	88	46	33	53	13	559

# ポスター講演数内訳

	CRD	CRI	GA	NU	SH	DM	MM&GW	O&E	Total
オンライン	25	52	56	20	12	10	23	7	205
現地参加	56	159	180	134	61	36	63	14	703
合計	81	211	236	154	73	46	86	21	908